
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 9月27日～10月3日

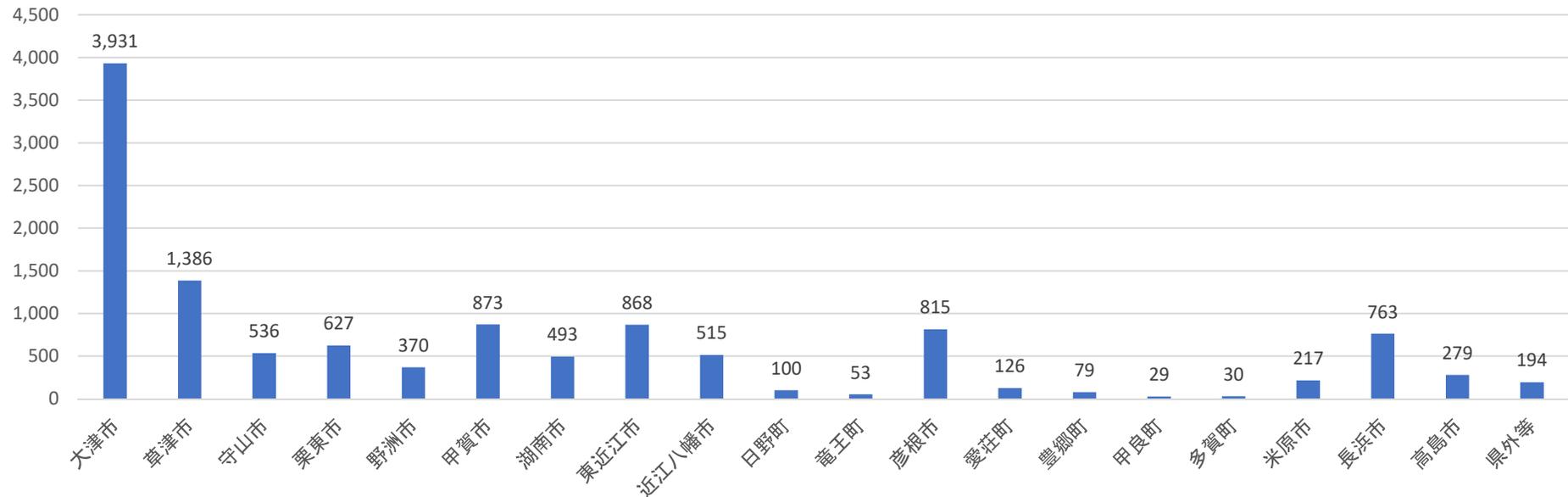
10月5日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

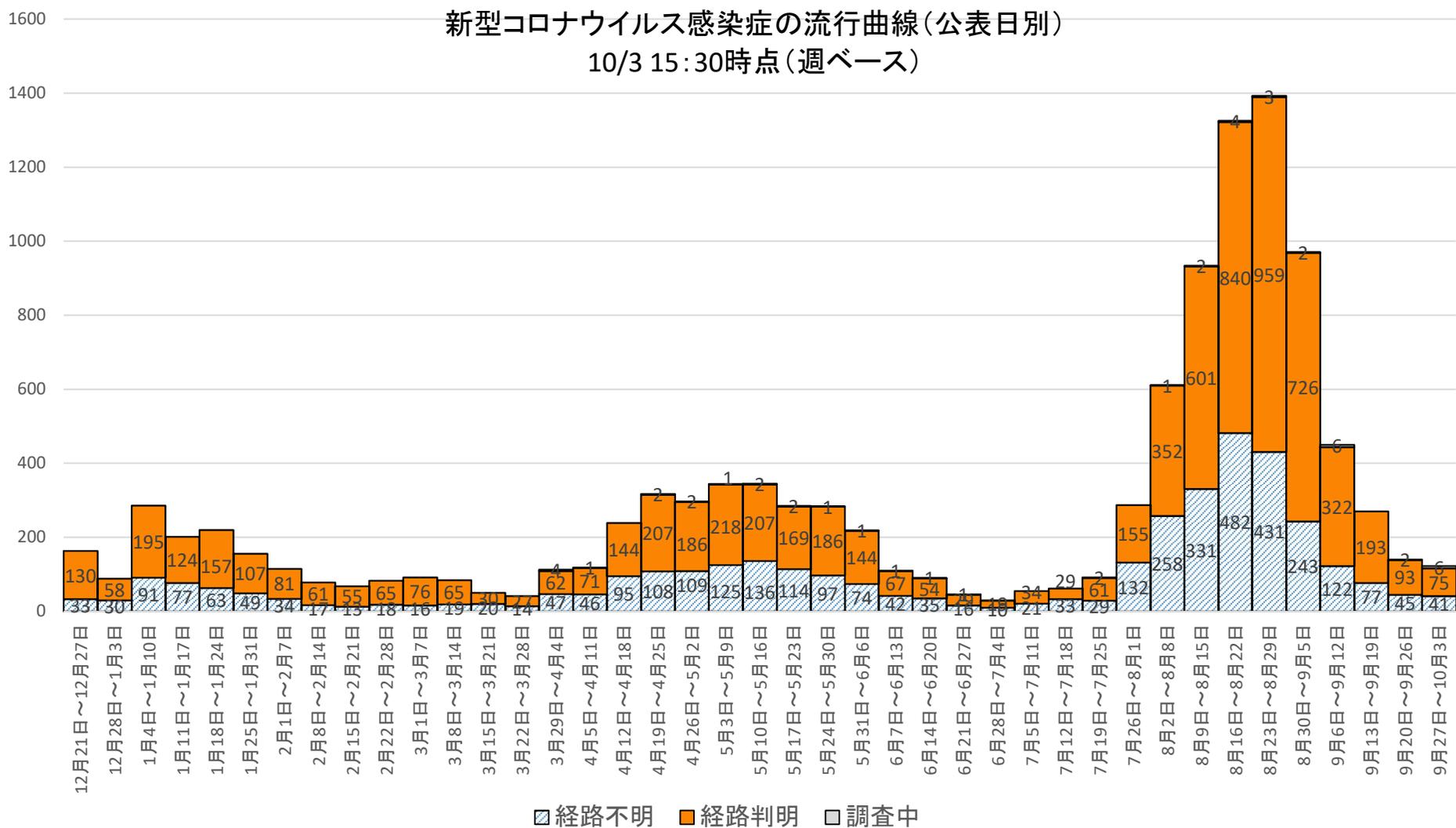
	新規感染者数
今週の報告数(9/27~10/3)	122人
累計(10/3時点)	12,284人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

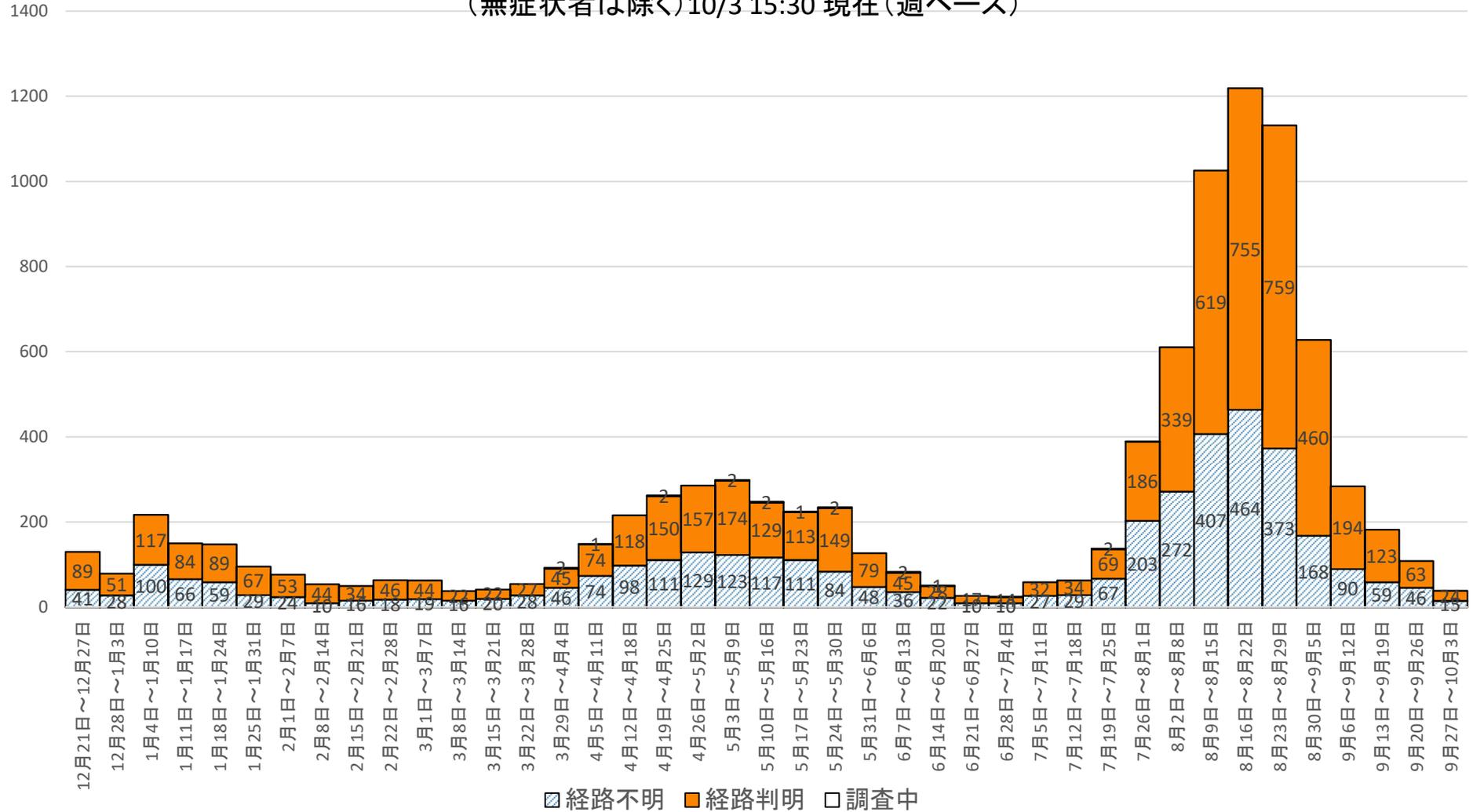
① 流行曲線(公表日別)(10月3日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(10月3日現在)

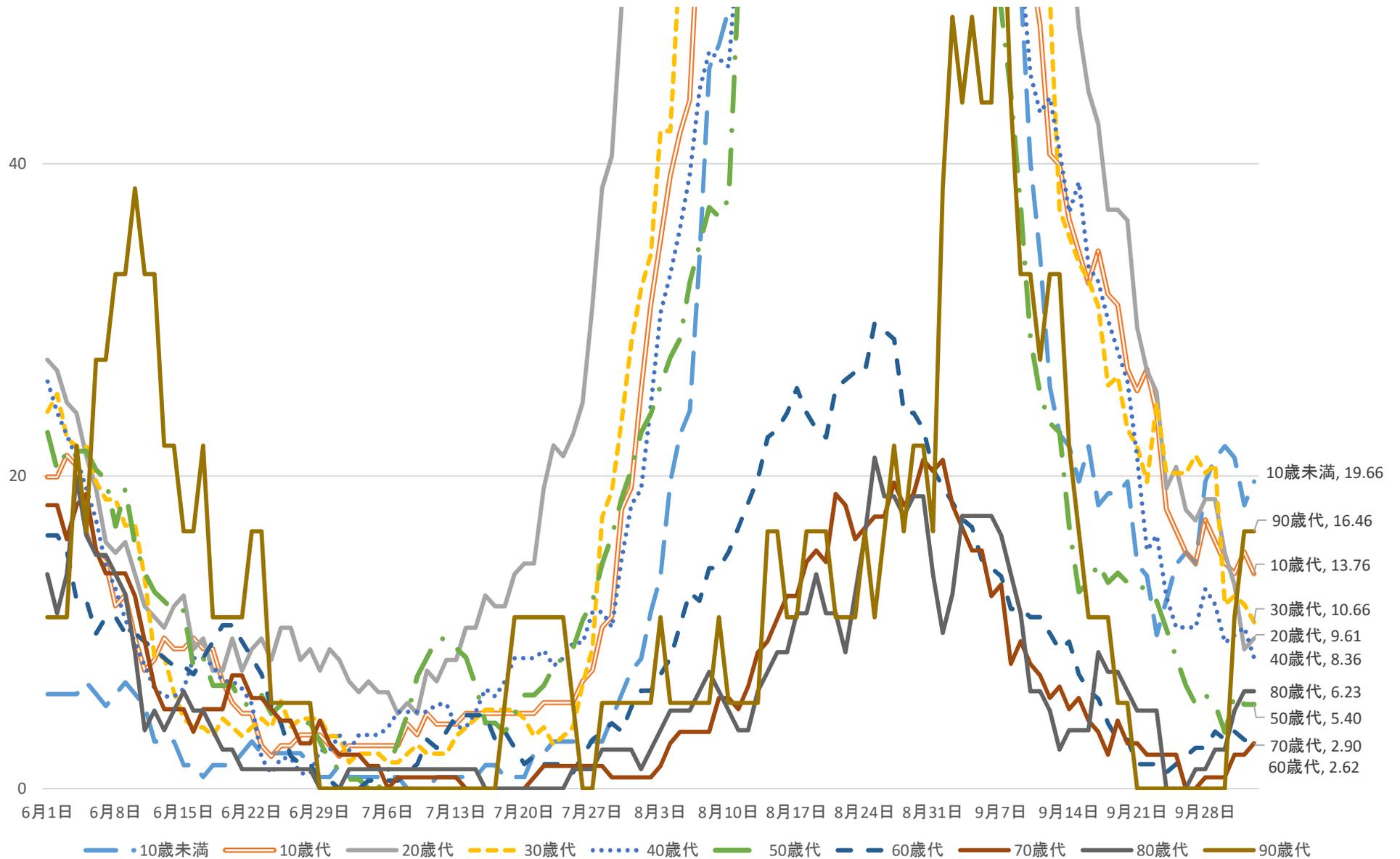
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)10/3 15:30 現在(週ベース)



注)無症状者を計上していません。今後10/3以前に発症した患者が届出されることがあります。

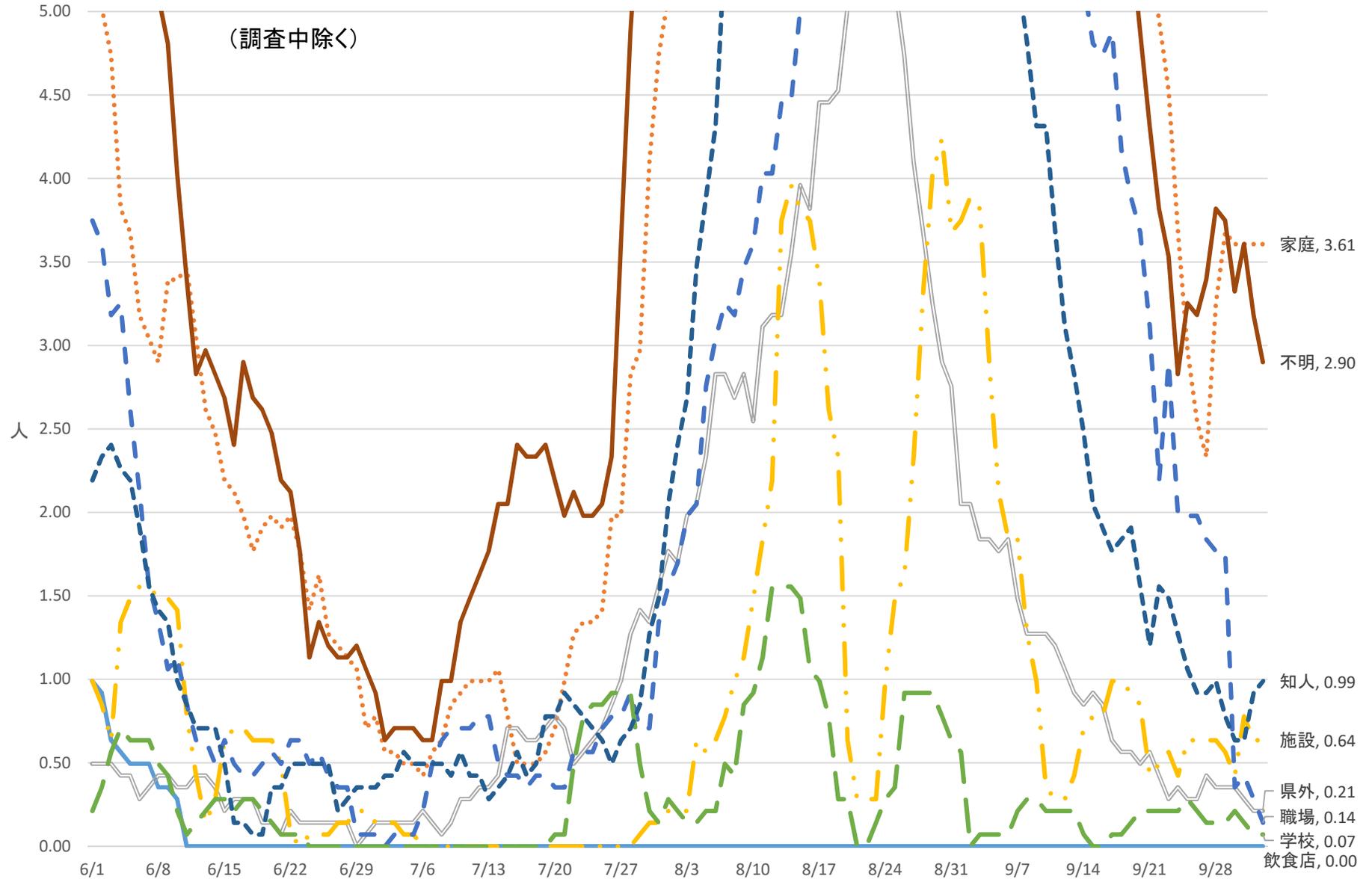
4)年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数)(6/1-10/3)



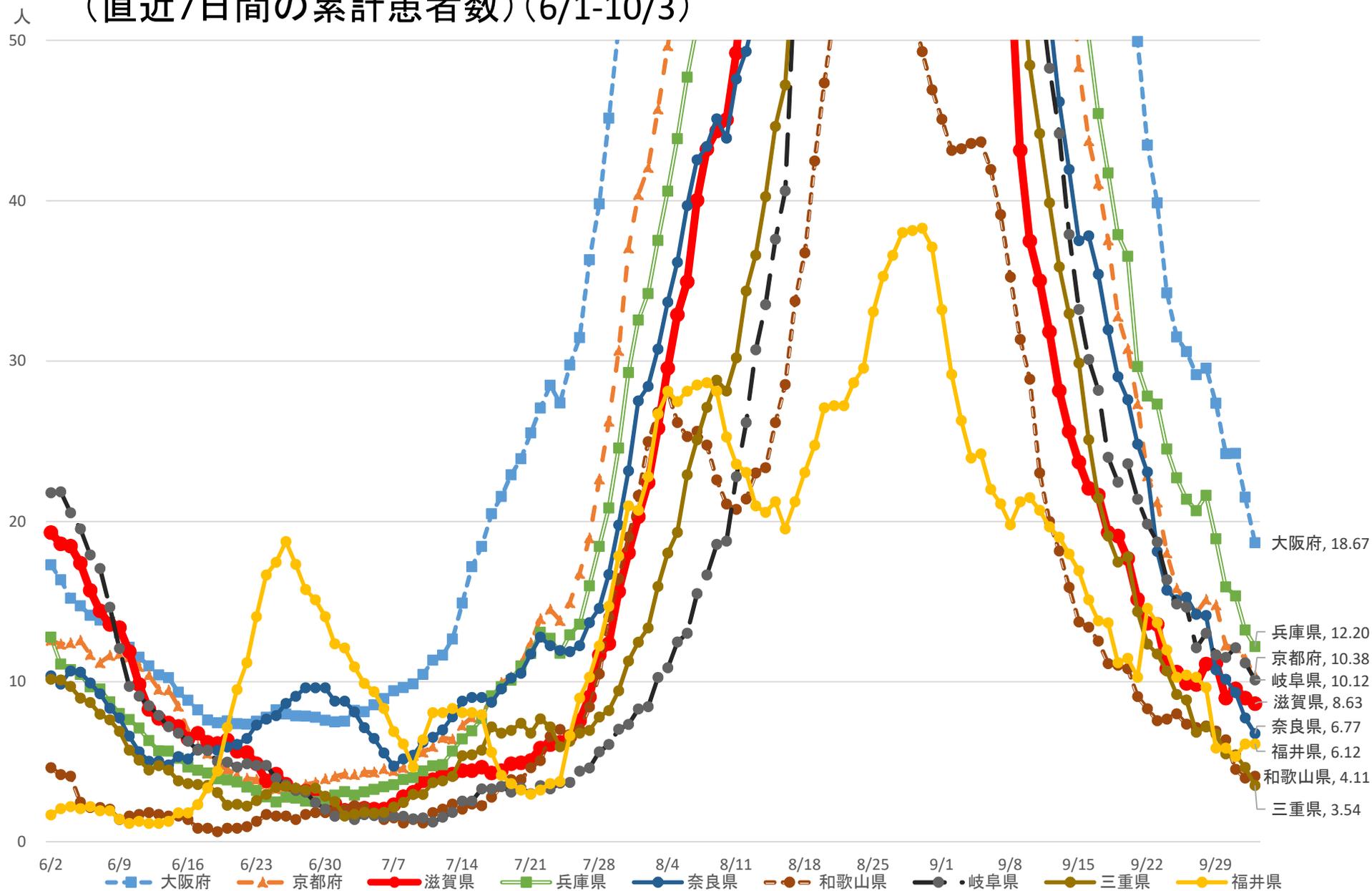
5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

(公表日 直近7日間の累計患者数)(6/1-10/3)



6) 近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移

(直近7日間の累計患者数)(6/1-10/3)



2、県内の感染状況と体制について(10/3現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修理待ち	空数			
			県内発生	その他					県内発生	その他	
総数	423	110	106	4	313	677	48	47	1	154	475

2) 県内の陽性者発生状況

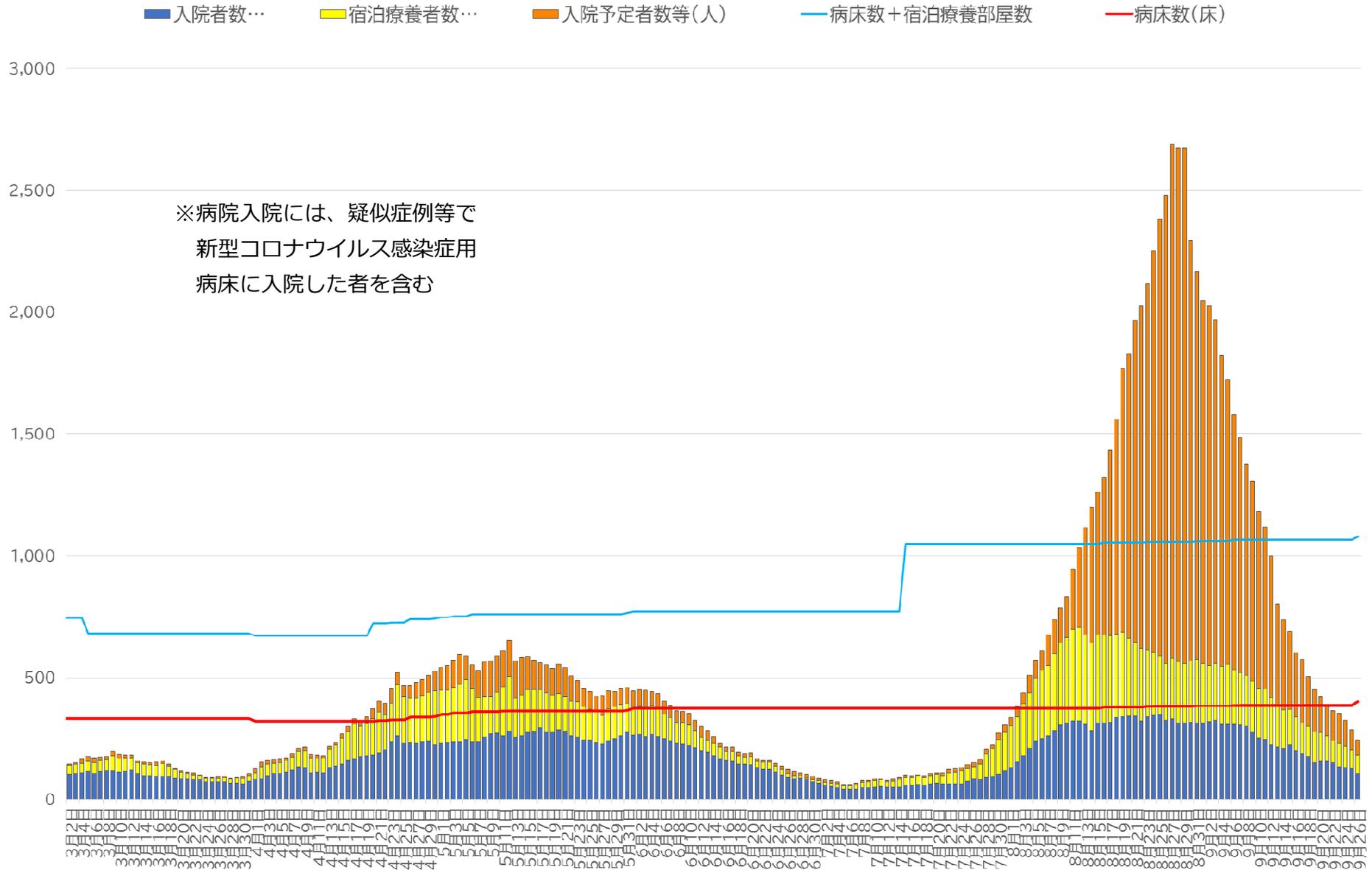
項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中								
				重症	中等症	軽症					
PCR検査数	172,839	184	106	2	20	84	31	47	12,000	100	
(うち行政検査分)	68,165										
(うちその他検査分)	104,674										
	(うちPCR検査判明分 8,890)						(うち自宅待機 11)				
抗原検査数	78,915						(うち自宅療養 20)				
	(うち抗原検査判明分 3,394)										

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要
 中等症：酸素投与が必要または摂食不可能
 軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

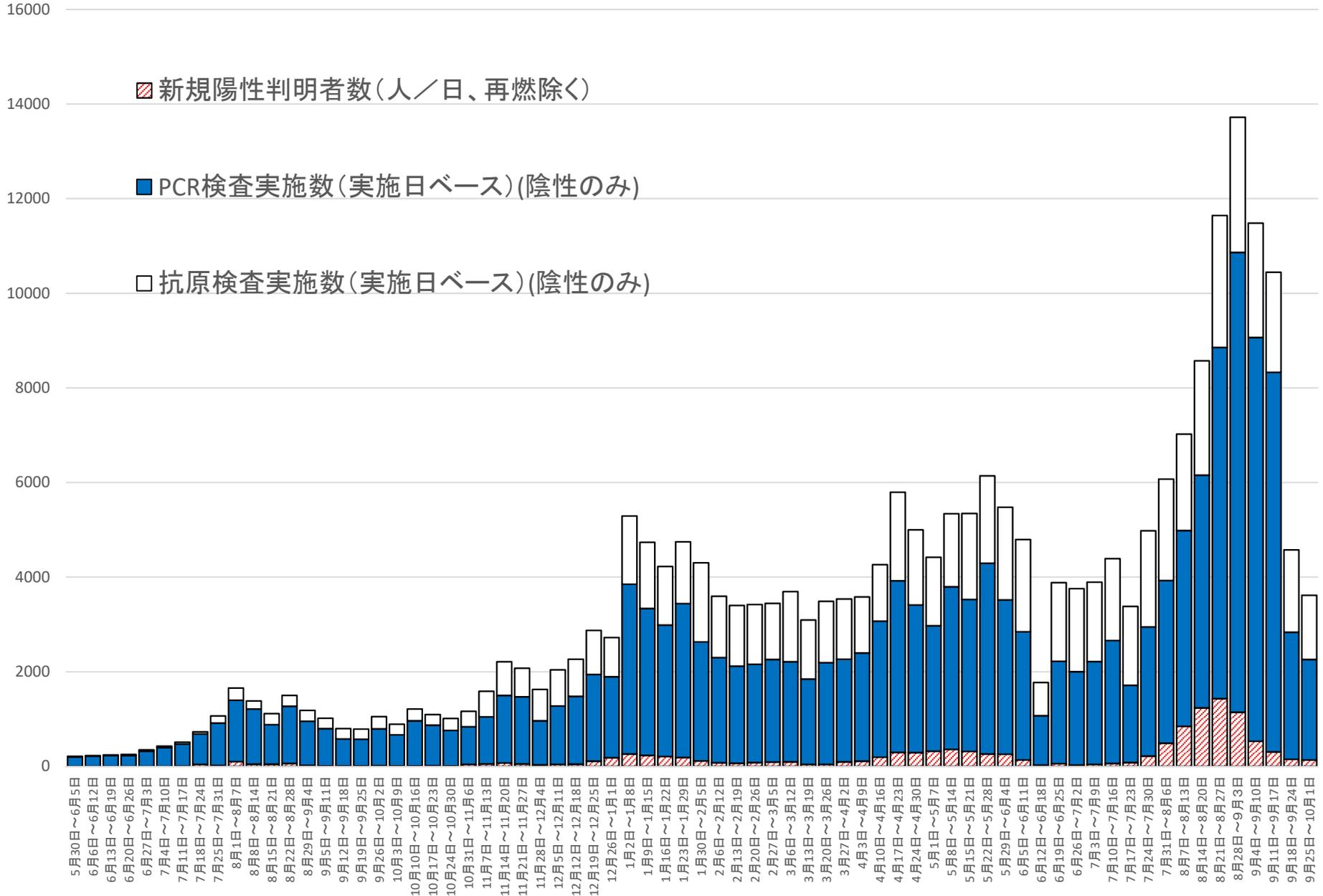
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



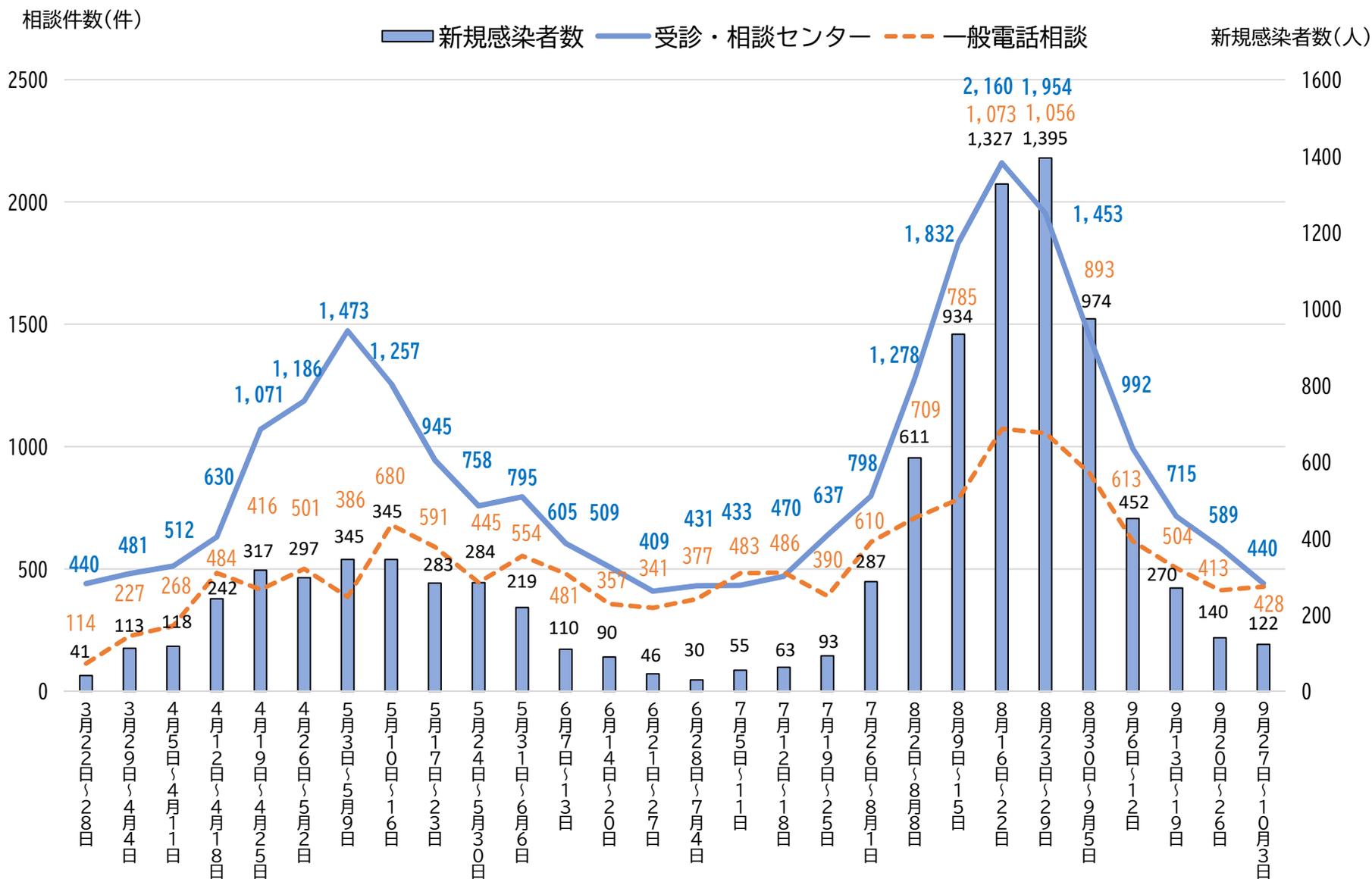
5)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、10月1日現在の陽性率は3.7%でした。

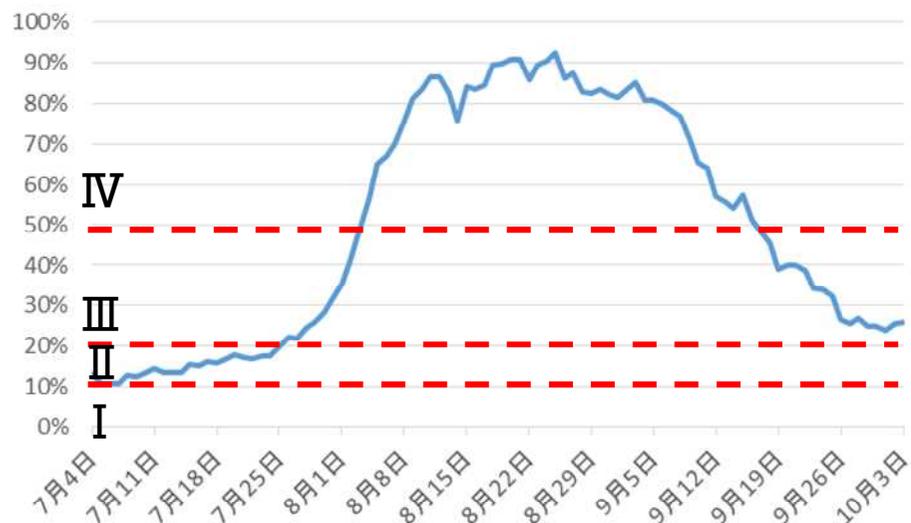
6) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）



7) その他の県内の感染動向

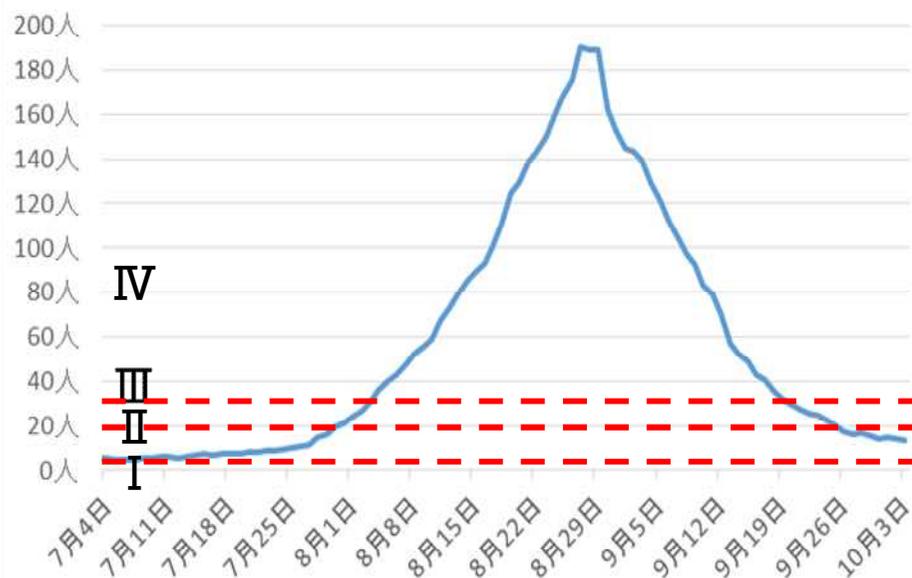
最大確保病床の占有率



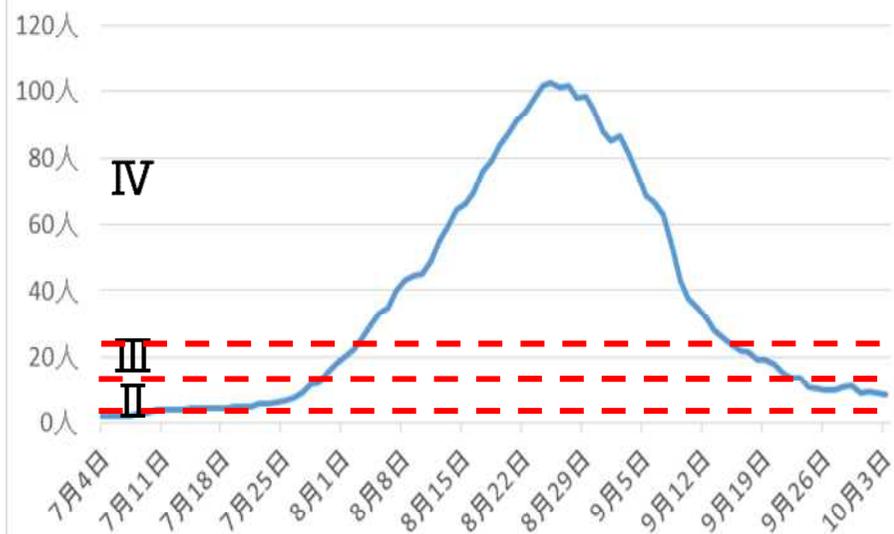
重症者用病床の最大確保病床の占有率



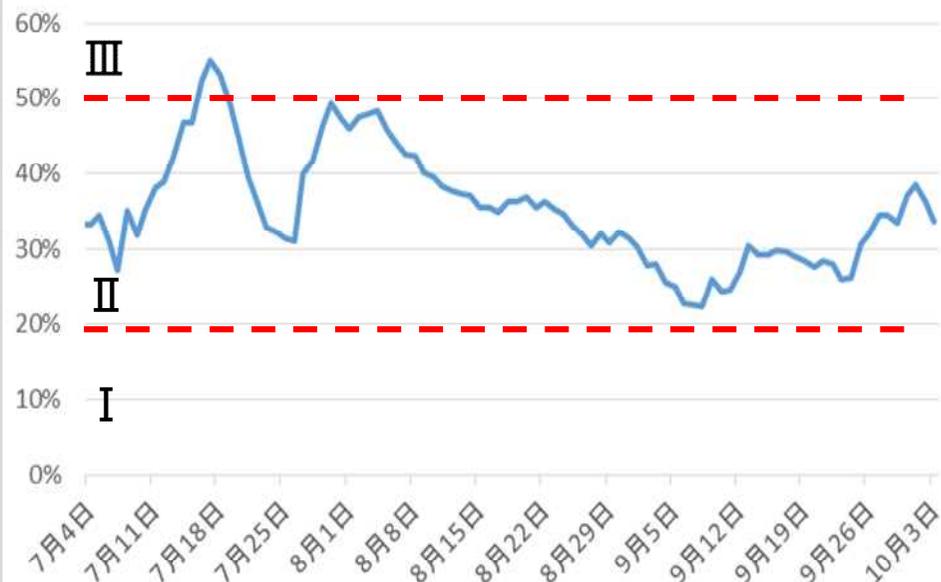
人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



感染経路不明割合



評価(9/27~10/3の感染状況)

- 本県の今週の新規陽性者数(122人)は、先週(140人)と比較し、0.87倍となり減少傾向が続いています。他府県の状況を見ても、ほぼ全ての府県で減少傾向が見られています。
- ステージ判断指標は、新規陽性者数が22日に、全療養者数が26日にステージIIの水準となりました。その他の指標についても、最大確保病床の使用率以外はステージIIの水準で推移しています。
- 保育関連施設や医療機関でのクラスターが確認されています。
- 新規陽性者数は減少傾向にありますが、増加傾向に転じると急増する可能性がある水準ですので、できる限り新規陽性者数を減少させて、再流行する可能性をより低下させる必要があります。
- 個人においては、普段からの手洗い、会話時のマスク着用、換気や密の回避など基本的な感染対策を継続してください。また、「いつも一緒にいない方」との面会や会食時は、特に対策が緩まないように注意してください。
- 学校、事業所や医療機関等においては、第4波および第5波の流行が始まった直後に新規患者数が急増したことを念頭に、10月は、対策の確認、業務継続計画および物資の在庫など次の流行に備えるための確認を行ってください。